



『しんきんの絆』

NEWS LETTER

Vol.1



全国の信用金庫はお客様の“想い”とともに、東日本大震災の被災地の復興を応援しています。

『しんきんの絆』復興応援プロジェクトは、東日本大震災により被災した地域の復興のために、民間非営利組織が行う草の根の日常生活の再建や、地域コミュニティ・文化の再生活動など「地域の絆」をつなぐ活動を応援するプロジェクトです。実施にあたっては平成26年に信用金庫が募集した「『しんきんの絆』復興応援定期積金」の募集総額の0.25%相当額について、信金中央金庫を通して、日本NPOセンターの「東日本大震災現地NPO応援基金(特定助成)」へ寄付を行っており、その寄付金をもとに同基金の特定助成として民間非営利団体への助成を行っています。



Project ①

特定非営利活動法人 移動支援Rera

(宮城)

日常生活の再建事業

外出手段を持たない住民のための助け合い送迎と見守りネットワークづくり

東日本大震災による津波被害が甚大であった宮城県石巻地域で、自力での移動手段を持たない人々のために震災直後から送迎支援を行い、2013年2月にはNPO法人を取得している。主な利用者は、高齢や障害、病気・けがなどで自力での移動手段を持たない住民や、公共交通機関を利用できない不便なエリアの住民で送迎する家族・知人がおらず、経済的にゆとりがなくタクシー代を支払うことが困難な人たちである。

約10名のスタッフが日曜日と元日を除いて毎日7～9台の車をフル稼働させている。その中には、車イスやストレッチャーにも対応できる福祉車両もある。利用者の負担は、ガソリン代などの送迎にかかる実費程度で、気軽に乗れると喜ばれている。平日の利用者は70～90人程度で年間では2万人を超えている。これまでの送迎者数は2015年1月に累計8万人に達して、走行距離はなんと地球24周半とのことである。

「しんきんの絆」復興応援プロジェクトでは、スタッフ人件費の一部や、車両修繕費、駐車場借料、通信費などを助成し、この送迎システムを支えている。

移動支援Reraでは、移動困難な住民のための送迎支援を財政的にも安定した運営にしていくために、現在の無償(実費負担)送迎から、福祉有償送迎(タクシー代の半額程度の非営利送迎)への移行を検討している。さらに、地域の人々からの寄付などが税制上優遇される仕組みである「認定NPO法人」取得に向けて動き出している。



■所在地: 宮城県石巻市

■活動地域: 宮城県石巻市と周辺

■<http://www.npo-rera.org/>

Project ②

相馬野馬追野馬懸保存伝承委員会

(福島)

地域コミュニティ・文化の再生事業

相馬野馬追祭礼用甲冑(御貸具足)の製作

相馬野馬追(そうまのまおい)は、一千年以上にわたる歴史を持ち、国の重要無形民俗文化財にも指定されている。神旗争奪戦や甲冑競馬は全国的にも有名で、相馬中村神社、相馬太田神社、相馬小高神社から今年は約450騎が出陣した。

相馬小高神社の地域(小高郷・標葉郷)は、原発事故により立ち入り制限区域となっており、祭りの復活が他地域に比べて遅れている。相馬小高神社では、加賀藩で使用されていた甲冑を修理を重ねながら使ってきたが、江戸時代の甲冑で傷みが激しい一方、原発事故による立ち入り制限のため持ち出しができず、保存状態も悪化してきた。また、古い甲冑を修理できた職人も震災により市外に避難してしまい、修理ができない状況にある。実際の合戦で使っていた甲冑は、鉄と皮革でできており非常に重く、サイズも小さめであるために、夏場の行列には厳しい。なお、江戸時代の甲冑は歴史的価値もあることから、博物館等での保存を検討している。

今回の助成では、軽くてメンテナンスも楽な新素材(グラスファイバー)を使った甲冑製作を支援することで、相馬野馬追が地元の人々に支えられて復活し、末永く継続されることを願っている。ボランティアとして参加した地元のあぶくま信用金庫の人たちは「2日間にわたって甲冑を身にまとっていたが、軽くて汗にも強い甲冑であった」と語っていた。新しい甲冑による行列が小高区の再出発の象徴、住民帰還の後押しとなることを期待したい。



■所在地: 福島県南相馬市

■活動地域: 福島県南相馬市

宮古市における若者定住促進プロジェクト

「ユースみやっこベース」は、若い世代の社会活動への参画機会づくりにより、地域への愛着を深め、将来の地域の担い手となる人材を育成して、宮古市の持続的な発展に寄与することを目的としている団体である。宮古市末広町商店街の一角を活動拠点にして、地域と若者をつなぐコミュニティスペースを運営している。

高校生が復興についての地域課題などを話し合う場「高校生サミット」は、設立以来毎月一回開催されている。約30回開催し、市内全5高校から延べ約400名の高校生が参加した。夏休み等には、「OB・OGサミット」を開催し、地域外に進学、就職した卒業生が集まる機会も設けている。

また、地域の様々な分野で働く人、Uターンで宮古に戻ってきた人から、仕事の内容や職業についたきっかけ等の話を聞く「大人の話を聞く会」、地元企業への理解を深める「地元企業見学」、漁業や農業などの一次産業、観光業、復興支援活動など、現在の宮古に触れる「地域体験プログラム」等のプログラムを通して、様々な観点から地域の魅力を実感し、地元への定住を志すきっかけづくりを進めている。

さらに、団体の活動内容や成果について、より多くの地域住民と共有し、理解を深めてもらい、継続した地域の支援を得ることで、将来的には助成金等に過度に依存しない運営をめざすため、ウェブサイトだけでなく、広報誌を定期的に発行する等、多様な広報に努めている。



■所在地：岩手県宮古市

■活動地域：岩手県宮古市

■<http://miyakobase.jimdo.com/>

信金のお客様の「想い」と「地域の絆」を繋いでいきます。

選考委員長 萩原 なつ子
(日本NPOセンター 副代表理事)



被災地は、震災から4年余り経過して見た目では大きく変わってきていますが、真の復興にはまだ道遠という状況です。本格的な復興には最低でも10年がかかるといわれていますが、いくつかの資金助成プログラムは終息期を迎えようとしています。このようななかで、『しんきんの絆』復興応援プロジェクトが、信用金庫業界からのご寄付によって2015年4月から新たにスタートしたことは、被災地で活動するNPOや市民活動団体にとって、大変喜ばしいことです。

『しんきんの絆』復興応援定期預金の趣旨に賛同して預金された方々の「想い」を、「地域の絆」を繋ぐ「形」にしていきたいと思えます。

震災発生から丸4年、被災地の復興は第2ステージへ、継続的な支援が必要

信金中央金庫
理事 室井 稔雄



信用金庫業界では、震災発生直後より、業界を挙げて被災地の復興に向けた支援を継続しています。

被災地では、復興に向けた槌音が力強く響く一方で、未だに20万人を超える多くの被災者が仮設住宅等での生活を余儀なくされており、避難生活が長期化する中、コミュニティの弱体化や被災者の孤立といった新たな課題が山積しています。

本プロジェクトは、こうした課題に対応するため、日本NPOセンターの知見・ノウハウをお借りし、様々な支援活動を行っているNPO法人等に対し助成を行い、その先の被災者一人ひとりの「笑顔」に繋げていくことを目的としています。

今後も被災地が真の復興を成し遂げるまで、業界の「絆」を結集した継続的な支援に取り組んでまいります。



第1回助成団体

『しんきんの絆』復興応援プロジェクトは平成27年4月からスタートし、第1回助成は右図のとおり被災3県の20団体の活動を応援しています。10月から開始の第2回助成については現在選考中で、選考結果は9月中旬には発表される予定です。

なお、この『しんきんの絆』復興応援プロジェクトは、平成28年度も継続実施されることが決まりましたので、復興支援に取り組むみなさまの積極的なご応募をお待ちしております。

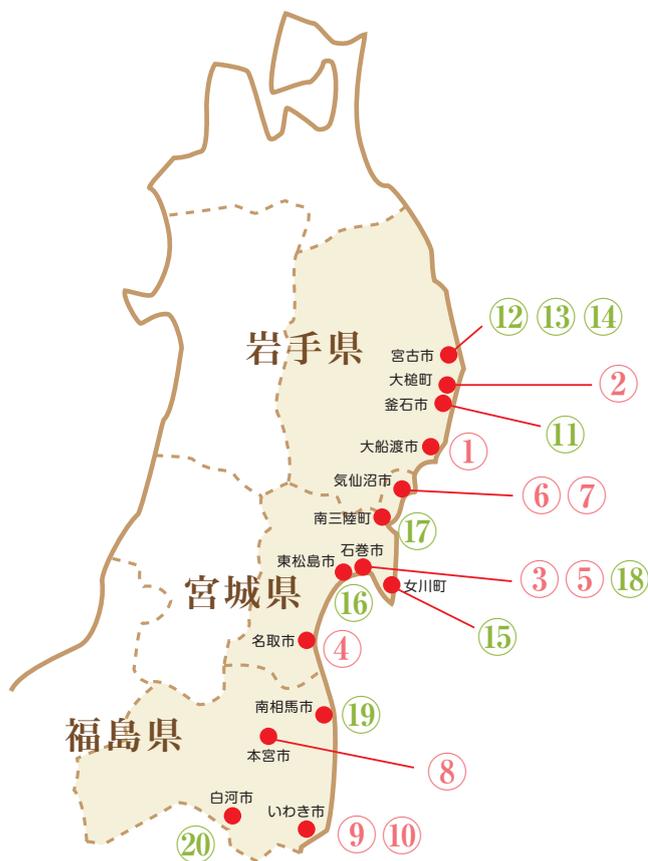
■ 助成期間：2015年4月～2016年3月

■ 助成件数：20団体

(一般公募枠：7団体)
(信用金庫推薦枠：13団体)

■ 助成金額：5,471万円

(一般公募枠：2,494万円)
(信用金庫推薦枠：2,977万円)



■ 日常生活の再建事業

団体名	事業名	所在地
① 特定非営利活動法人 居場所創造プロジェクト	居場所ハウス被災者復興応援事業	岩手県大船渡市
② 社会福祉法人 夢のみずうみ村 こども夢ハウスおおつち	大槌山菜収穫体験学習	岩手県大槌町
③ 特定非営利活動法人 移動支援Rera	外出手段を持たない住民のための助け合い送迎と見守りネットワークづくり	宮城県石巻市
④ 特定非営利活動法人 MMサポートセンター	スプリンクラーを設置し原発避難地区への一時立入時等の発達障害児の宿泊・訓練等を継続するための事業	宮城県名取市
⑤ 特定非営利活動法人 TEDIC	宮城県石巻市における不登校児童・生徒のサポート事業	宮城県石巻市
⑥ リアスの森応援隊	気仙沼自伐林家養成・活動支援事業	宮城県気仙沼市
⑦ 一般社団法人 気仙沼市住みよさ創造機構	「産学官金一体となった気仙沼市の住みよさの創造事業」の推進	宮城県気仙沼市
⑧ 特定非営利活動法人 本宮いどばた会	ふくしまへそのまちな親子の心も体も元気プロジェクト	福島県本宮市
⑨ 社会福祉法人 いわき市社会福祉協議会	災害に負けない地域づくり	福島県いわき市
⑩ 特定非営利活動法人 いわき自立生活センター	被災地における高齢者の生きがい作りとコミュニティ作り支援事業	福島県いわき市

■ 地域コミュニティ・文化の再生事業

団体名	事業名	所在地
⑪ 釜石よいさ実行委員会	釜石よいさ開催事業	岩手県釜石市
⑫ ユースみやっこベース	宮古市における若者定住促進プロジェクト	岩手県宮古市
⑬ 宮古市末広町商店街振興組合	宮古まちなか賑わい創出事業	岩手県宮古市
⑭ 特定非営利活動法人 いわてマリンフィールド	「ふるさとと海との共生」を進めるユニバーサルデザイン事業	岩手県宮古市
⑮ 女川町獅子振り復興協議会	女川町獅子振り復興協議会「復活!獅子振り披露会H27(仮称)」ならびに運営活動	宮城県女川町
⑯ 特定非営利活動法人 東松島まちづくり応援団	中心市街地商店街と地域コミュニティへの活動支援	宮城県東松島市
⑰ 特定非営利活動法人 夢未来南三陸	南三陸地域コミュニティで連携協力を推進するための基盤作り事業	宮城県南三陸町
⑱ 石巻まちなか復興マルシェ運営協議会	石巻市中心市街地における橋通りCOMMON(まちの担い手育成と賑わい創出)プロジェクト	宮城県石巻市
⑲ 相馬野馬追野馬懸保存伝承委員会	相馬野馬追祭礼用甲冑(御貸具足)の製作	福島県南相馬市
⑳ 特定非営利活動法人 カルチャーネットワーク	福島県南地域における地域情報発信事業	福島県白河市